

開成小学校の大規模改修計画について

開成小学校は昭和48年に建築した後、改修や耐震化工事を行ってきましたが、老朽化による改修が必要な所がいたるところに現れてきていることから、教育委員会では平成21年度に大規模改修のための基本設計を行い、平成23年度から25年度までの3年間で大規模改修を行う計画をとりまとめました。

今後は、この計画に沿って、さらに具体的な改修方法の検討を行います。

未来を担う子どもたちが楽しく学習が出来る安全で明るい施設への改修をめざします。



開成小学校校舎

改修内容の概要

- ① 屋上防水関係
管理教室棟の一部や渡り廊下などで傷みがある所について改修します。
- ② 外壁関係
耐久性がなくなっており、全面的に塗替えをします。
- ③ 内装関係
教室、廊下などで、床の傷み、壁の汚れなどが見られます。床は新しく改修し、廊下と教室との間仕切り壁を交換します。そのほか、階段のサッシの交換、壁や天井の塗替えなどを行います。
- ④ 図書室
今年の夏休みに、北棟から管理教室棟の1階に移転を行い、さらにさまざまな学習が行えるよう増築をします。
- ⑤ 給食関係
米飯設備を導入します。
- ⑥ 北棟
開成南小学校開校により教室の不足が解消されたため、老朽化した北棟は取り壊します。
- ⑦ その他
印刷室の移転、教育相談室や保健室の改修などを行います。時期及び場所は次のとおりです。

効率的な行政運営を目指して 行政改革を進めよう

町では、平成18年3月に策定した第四次開成町行政改革大綱(集中改革プラン)に基づき、行政改革を進めています。平成21年度に進めた取り組みの概要をお知らせします。

事務事業の見直し

町総合計画に基づく各種事業について、事務事業評価事業の成果などを指標によって評価する方法)を実施しました。今後は、施策に対する評価も実施していきます。

組織・機構の見直し

町民の皆さんとの協働の推進や住民サービスの向上を目的に、役場の組織を見直し、平成22年4月から変更しました。

効率的な行政運営

開成水辺スポーツ公園の指定管理者制度(条例で定める範囲内で業務を民間業者に

企画政策課 ☎84-0312

委ねること)の準備を進め、平成22年度から導入しました。県西地域2市8町(小田原市・南足柄市・中井町・大井町・松田町・山北町・開成町・箱根町・真鶴町・湯河原町)で構成する合併検討協議会において、この地域を一体とする合併に関する方向性を定め、検討を終えました。

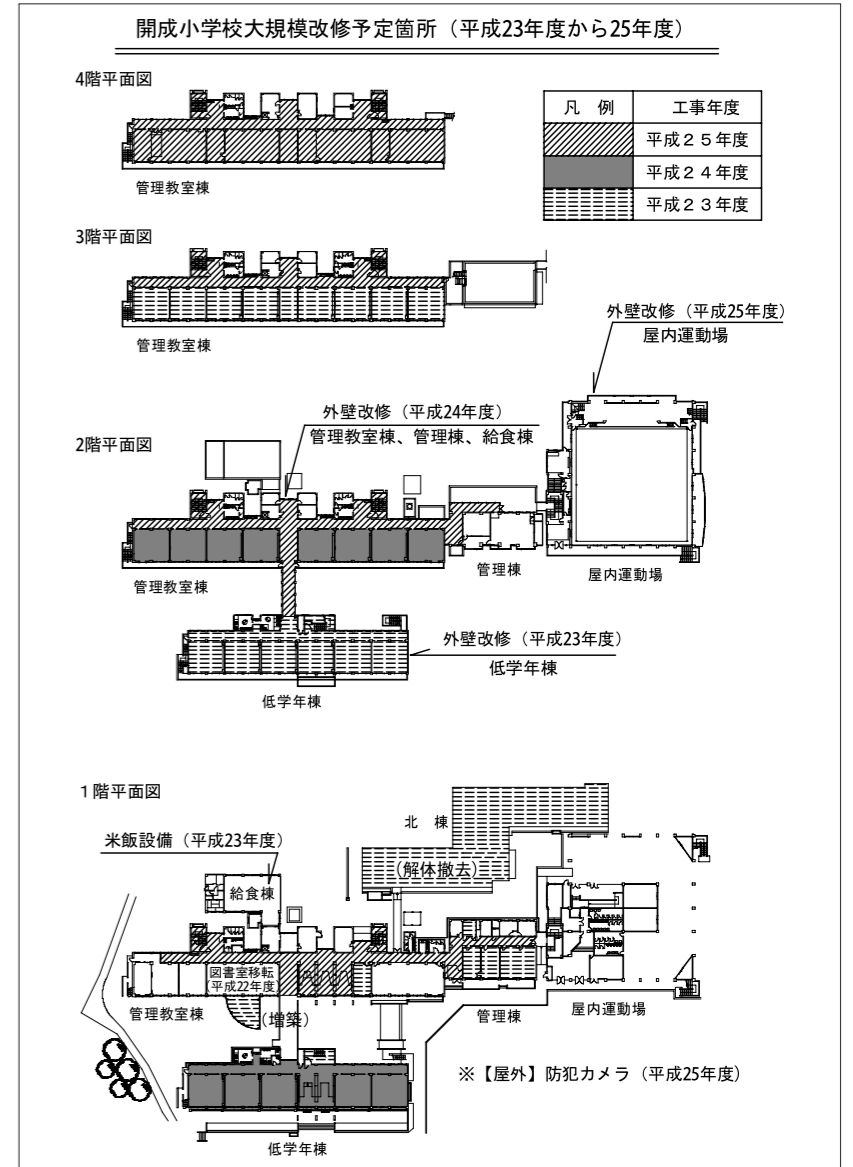
〈県西地域2市8町における合併の方向性〉
2市8町が足並みを揃えて合併に向けた協議会を設立することは難しいこと。そのうえで、将来の一体化に向けて広域連携を一層強化していくこと。

※詳細は広報かいせい5月号をご覧ください。

財政運営の健全化

税などに対する未納者への徴収対策を進めた結果、幼稚園保育料の未納はなくなりました。(平成21年度末)

改修工事の予定
平成23年度 【低学年棟】外壁、2階の教室(6室)、2階の廊下及び階段 【管理教室棟】3階の教室(8室)、図書室(増築)、印刷室等 【管理棟】保健室など 【給食棟】米飯設備の導入 【北棟】解体撤去
平成24年度 【低学年棟】1階の教室(5室)、1階の廊下 【管理教室棟】屋上防水(一部)、外壁、2階の教室(8室) 【管理棟、給食棟】外壁
平成25年度 【管理教室棟】1～4階の廊下及び階段、4階の特別教室 【屋内運動場】外壁 【屋外】防犯カメラ



第四次開成町行政改革大綱の進捗状況

行政改革大綱の体系(大柱)	事業数	進捗度別事業数				
		100% (構成比)	～80% (構成比)	～50% (構成比)	50%未満 (構成比)	
I 事務事業の見直し	4	2 (50%)	1 (25%)	1 (25%)	0 (0%)	
II 組織・機構の見直し	10	6 (60%)	3 (30%)	0 (0%)	1 (10%)	
III 効率的な行政運営	28	20 (71%)	5 (18%)	2 (7%)	1 (4%)	
IV 財政運営の健全化	24	8 (33%)	10 (42%)	3 (13%)	3 (13%)	
V 協働の推進	6	2 (33%)	1 (17%)	1 (17%)	2 (33%)	
合計	72	38 (53%)	20 (28%)	7 (10%)	7 (10%)	

今後は、開成町行政改革推進委員会からの意見を受け、達成度が低い項目を中心に、取り組みを進めていきます。

平和行政推進事業 平和について考えましょう

総務課 ☎84-0310

開成町では、世界に核兵器がなくなることを訴えるため、平成7年9月19日に「非核平和都市宣言」を決議しています。

『非核平和都市宣言に関する決議』(全文)

わが国は、世界で唯一の被爆国であり、核兵器を廃絶し、恒久平和を実現することが、国民共通の願いである。しかしながら、地球上には多くの核兵器が蓄積され、世界の平和と人類の生存に脅威を与えている。

美しい郷土を守り、安全で豊かな暮らしを、子々孫々に引き継ぐことは、我々の責務と考え、戦後五十年を迎え、開成町は、憲法の平和精神に則り、核兵器の廃絶を訴え、真の恒久平和を希求し、ここに非核平和都市となることを宣言する。

平成7年9月19日
神奈川県足柄上郡開成町議会

今年、終戦から65年目の節目の年です。戦争の記憶が薄れつつある今、開成町では、戦争の体験を語り継ぐことにより、二度と悲惨な戦争を繰り返すことのないよう、戦争を知らない世代に向け、原爆や戦争の悲惨さを継承し、平和の尊さや大切さを未来につなげていきます。「チョーク絵」「平和を伝えるパネル」を役場ロビーなどで展示しました。



語りつぐ歴史「チョーク絵」(瀬戸屋敷館長 川澄氏作)
「平和を伝える写真パネル」